

市民病院

もつと耳寄り情報



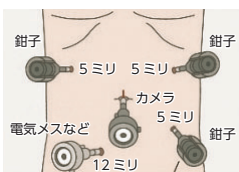
市民病院
☎ 66・2200

体にやさしい「腹腔鏡手術」

ヘルニア外来のお知らせ

腹腔鏡手術とは、皮膚に1センチ程度の穴を4〜5個開けて、そこから腹腔鏡(筒状のカメラ)と専用の手術用具をお腹の中に入れて行う手術です。腹腔鏡の映像をテレビモニターに映して、患部を確認しながら手術をするには高い技術が必要です。(お腹の中で行われることは、通常の開腹手術と同じです)

市民病院では腹腔鏡手術は鼠径ヘルニアや大腸がん、胃がんの治療として行われています。特に早期がんは、治る可能性が非常に高いことがわかっていきます。通常の開腹手術に比べて傷が小さく済み、手術後の痛みも少ないので、身体への負担が軽減されます。さらに、術後の回復が早いので、入院期間も短くて済むといった利点があり、おすすめです。



ヘルニア専門外来
毎週 火・水・木 午前中

鼠径ヘルニアは、太ももの付け根から内臓(主に小腸)が脱出してくる病気で、一般的には脱腸と呼ばれています。放置しておく、急に腫れがひどくなり押さえても引込まず、腹痛や嘔吐を伴う嵌頓という状態になり、緊急手術が必要になることもある病気です。鼠径ヘルニアは40歳以上の男性がなりやすく、治療には手術しかありません。市民病院では腹腔鏡手術を1泊2日の短期入院で行っており、年間約80件の手術を行っています。

消化器内科で新しい治療を開始

日帰り手術 コールドポリペクトミー

日本では大腸がんによる死亡が年々増加しています。その多くが大腸ポリープから発生するため、予防のためにはポリープ(がん化する前)の段階で切除しておくことが重要です。市民病院では1泊2日の内視鏡的ポリープ切除術(ポリペクトミー)を、年間約230件実施しています。

5月から日帰り手術でポリープ除去が行える『コールドポリペクトミー』を開始しました。この手術の導入で患者さんの出血や穿孔(腸に穴があく)のリスクが軽減され、微小なポリープは負担なく切除することが可能となりました(手術が可能かはポリープの大きさにもよります)。



医療機関の使い分け

かかりつけ医を持ちましょう

先生に聞いてみた!



インタビューボタン

第3回 外科部長 若杉健弘



- Q 外科での年間手術数はどのくらい?
A 年間約400件の手術を行なっています。
- Q 市民病院の外科の強みは何ですか?
A 消化器外科の分野毎の専門ドクターがそろっています。
- Q 先生の専門分野は?
A 胃がんの手術(腹腔鏡手術、開腹手術)と抗がん剤治療を専門としています。
- Q 先生が外科の医師を志した理由は?
A 小学生の時に入院した担当の先生が、とても素晴らしかったことがきっかけです。
- Q 先生の出身地は?
A 瀬戸市出身です。
- Q 趣味は何ですか?
A 家庭菜園と海外旅行です。
- Q 患者さんや地域の方々にひとこと
A 地元蒲郡で、高い専門性が必要な手術を受けることが出来ます。体にやさしい腹腔鏡手術を積極的に取り入れています。手術と言われたら、まずご相談ください。

次回は内科の先生です